

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

外国人技能実習生又は特定技能外国人を使用する事業場に対する状況取りまとめ

令和6年の監督指導、送検等の状況を公表します

厚生労働省は、このたび、全国の労働基準監督署等が、令和6年に外国人技能実習生(以下「技能実習生」)又は特定技能外国人を使用する事業場に対して行った監督指導(立入調査)や送検等の状況について取りまとめたので、公表します(※1、2参照)。

全国の労働局や労働基準監督署は、技能実習生又は特定技能外国人を使用する事業場に対し、労働基準関係法令などの周知・啓発に努めるとともに、労働基準関係法令違反の疑いがある事業場に対して監督指導を実施しており、引き続き、技能実習生及び特定技能外国人の適正な労働

条件と安全衛生の確保に重点的に取り組んでいきます。なお、度重なる指導にもかかわらず法令違反を是正しないなど重大・悪質な事案に対しては、送検を行うなど厳正に対応していきます。

実習実施者数及び特定技能所属機関数は※1及び※2のそれぞれ2頁目の<参考>を御参照ください。

〈厚生労働省サイトより〉



～令和6年の監督指導・送検の概要～

【技能実習生関係】

労働基準関係法令違反が認められた実習実施者は、監督指導を実施した11,355事業場のうち8,310事業場(73.2%)。主な違反事項は、(1)使用する機械等の安全基準(25.0%)、(2)割増賃金の支払(15.6%)、(3)健康診断結果についての医師等からの意見聴取(14.9%)の順に多かった。重大・悪質な労働基準関係法令違反により

送検したのは16件。

【特定技能外国人関係】(初公表)

労働基準関係法令違反が認められた事業場は、監督指導を実施した5,750事業場のうち4,395事業場(76.4%)。主な違反事項は、(1)使用する機械等の安全基準(24.0%)、(2)割増賃金の支払(17.2%)、(3)健康診断結果についての医師等からの意見聴取(16.7%)の順に多かった。重大・悪質な労働基準関係法令違反により送検したのは7件。

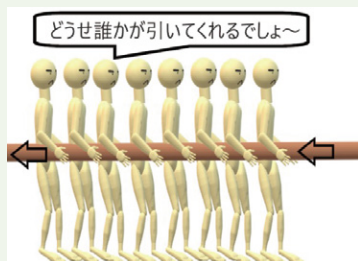
MEMO

ビジネスひと口メモ

リンゲルマン効果

集団で作業する際、人数が増えるにつれて一人あたりの発揮能力や努力水準が低下する現象。個々の責任感の分散や他者への依存心、手抜きが主な原因。マクスミリアン・リンゲルマンによって提唱。この現象は、1913年にリンゲルマンが行った「綱引き実験」によって明らかになった。実験では、参加者が増えるにつれて、各人の引っ張る力が減少することが観察された。「社会的な手抜き」や「社会的怠惰」「フリーライダー(ただ乗り)現象」とも言われている。

1人で綱引きをしたときの力強さを100%だとすると、
2人の場合…93%、
3人の場合…85%、
8人の場合…49%



INFO

① 事務局より

YouTube動画配信情報

「日本語堪能!ネパール人材採用の薦め」

■2025年10月28日(火)アップロード予定
右記のQRコードまたは下記URLから
<https://www.youtube.com/@JCPS-Coop/>



【概要】

技能実習生や特定技能外国人の輩出国として、あまり知られていないネパールですが、留学生の受け入れでは中国に次ぎ第2位。国内各地で見られるインドカレー店は、ネパール人の方が経営をされているケースが多く見受けられるなど、気づかないところで、日本においてネパール人は身近な存在なのです。

当組合も今年度より、ネパールの送り出し機関と業務提携しました。ご興味のある組合員様はぜひご覧ください。

2026年度も新入社員研修を実施予定です。追ってご案内します。